



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 東京テアトル株式会社
 コード番号 9633 URL <http://www.theatres.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 太田 和宏
 (氏名) 松岡 毅

TEL 03-3561-8325

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	11,266	△3.6	251	330.8	316	751.3	217	△86.7
26年3月期第3四半期	11,681	△16.4	58	—	37	—	1,633	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 262百万円 (△9.7%) 26年3月期第3四半期 291百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第3四半期	2.75	—
26年3月期第3四半期	20.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年3月期第3四半期	24,006	13,614	56.7	172.48
26年3月期	24,579	13,430	54.6	170.15

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 13,614百万円 26年3月期 13,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	15,600	△0.3	250	—	250	—	100	△88.0	1.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	80,130,000 株	26年3月期	80,130,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,193,533 株	26年3月期	1,192,973 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	78,936,953 株	26年3月期3Q	78,937,878 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

平成27年3月期第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年12月31日、以下「当四半期（累計）」といいます。）における当社グループの定性的情報は次のとおりです。

(1) 経営成績に関する説明

当四半期（累計）におけるわが国の経済は、消費税率引き上げの影響や円安による原材料価格の上昇があり先行きの不透明さを残すものの、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済環境のもと、当社グループは平成24年度を初年度とし平成26年度を最終年度とする中期経営計画「To The Next 2014」の達成に取り組みました。

当四半期（累計）の連結業績は、前年度に「ホテル西洋 銀座」が営業終了したことや消費税率引き上げの影響を受け不動産販売事業の売上が伸び悩んだことなどから売上高は11,266百万円（前年同期比3.6%減）となりましたが、前年度に取得した賃貸不動産3物件の収益が寄与したことなどから営業利益は251百万円（前年同期比330.8%増）となり、経常利益は316百万円（前年同期比751.3%増）となりました。また四半期純利益は、銀座テアトルビルの売却益を特別利益に計上した前年同期から大幅に減少し217百万円（前年同期比86.7%減）となりました。

■連結経営成績（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
売上高	11,681	11,266	△415
営業利益	58	251	+192
経常利益	37	316	+278
四半期純利益	1,633	217	△1,416

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

映像関連事業における広告事業は、業務領域を広げ、グループの経営資源を最大限活用して取引先企業の販売促進支援や顧客開発を提供するため「ソリューション事業」として再編し、事業名称を変更いたしました。

また「ホテル西洋 銀座」を運営しておりました株式会社エイチ・エス・ジーは平成26年5月21日をもって清算終了し、当社グループはホテル事業から撤退いたしました。これに伴いセグメント名称を従来のホテル飲食関連事業から飲食関連事業に変更いたしました。

■セグメント別売上高（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	2,616	2,405	△211
飲食関連事業	4,375	4,312	△63
不動産関連事業	3,810	3,533	△277
その他事業	879	1,015	+136
計	11,681	11,266	△415

■セグメント別営業利益（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	52	△37	△90
飲食関連事業	80	75	△5
不動産関連事業	358	549	+190
その他事業	59	102	+43
調整額	△493	△438	+54
計	58	251	+192

<映像関連事業>**(映画興行事業)**

『そのみにて光輝く』『チョコレートドーナツ』等が好成績を収めたものの、前年同期にアニメ作品の大ヒットがあったことから、前年同期比で減収となりました。

当四半期末の映画館数及びスクリーン数は、9館23スクリーンです。

(映画配給事業)

前年同期よりも配給収入を計上した作品数は減少しましたが、モントリオール世界映画祭最優秀監督賞をはじめ数々の映画賞を受賞した『そのみにて光輝く』や『それいけ!アンパンマン りんごぼうやとみんなの願い』が好成績を収めたことから、前年同期並みの売上高となりました。

(ソリューション事業)

新規顧客の獲得等により受注が増加したものの、事業再編により一部機能を外部へ移管したことなどから前年同期比で減収となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は2,405百万円(前年同期比8.1%減)となり、営業損失は37百万円(前年同期は営業利益52百万円)となりました。

<飲食関連事業>**(飲食事業)**

平成26年4月に洋菓子店「パティスリー 西洋銀座」松屋銀座本店を、同年6月に都内ダイニング&バーの地中海バル2号店「アオヤマ・マルマーレ」を、同年8月に焼鳥専門店チェーン「串鳥」岩見沢店を、同年11月に新業態となる串鳥のワイン酒場「タント」を出店したことに加え、串鳥の既存店が好調に推移したことから、前年同期比で増収となりました。

当四半期末における飲食店及び惣菜・洋菓子店の店舗数は下表のとおりです。

なお、当四半期末以降では平成27年1月14日に惣菜店「デリショップ 西洋銀座」日本橋三越本店を、同年1月21日に地中海バル「トーキョー・マルマーレ」の別館「マルマーレ・アネックス」を出店した一方で、同年2月3日に洋菓子店「パティスリー 西洋銀座」松坂屋上野店を閉店いたしました。

■飲食店及び惣菜・洋菓子店の店舗数

	前年度末	当四半期末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	34	35	+1
串焼専門店「串鳥番外地」他	2	3	+1
都内ダイニング&バー	4	5	+1
飲食店 合計	40	43	+3
惣菜・洋菓子店 合計	3	4	+1

以上のとおり飲食事業は前年同期比で増収となりましたが、前年同期に営業終了した「ホテル西洋 銀座」の2カ月の売上が計上されていることから飲食関連事業の売上高は4,312百万円(前年同期比1.4%減)となり、営業利益は75百万円(前年同期比6.7%減)となりました。

<不動産関連事業>**(不動産賃貸管理事業)**

前年度に銀座テアトルビルを売却したほか賃貸商業施設3事業所からも撤退したものの、前年度に取得した賃貸不動産3物件が順調に稼働したことから前年同期並みの売上高となりました。

(不動産販売事業)

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により不動産流通市場が低迷し、中古マンションの販売件数やリフォーム受注件数が減少したことから前年同期比で減収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は3,533百万円（前年同期比7.3%減）となりましたが、賃貸不動産3物件の収益が寄与したことなどから営業利益は549百万円（前年同期比53.0%増）となりました。

<その他事業>

サービス事業は大口債権の回収が前倒しで進んだことから前年同期比で大幅な増収となり、レジューホテル事業はほぼ前年同期並みの売上高を確保いたしました。

以上の結果、その他事業の売上高は1,015百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益は102百万円（前年同期比72.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産負債及び純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、販売用不動産や買取債権が増加したものの、現金及び預金が減少したこと等により、前年度末と比較し547百万円減少し6,293百万円となりました。

固定資産は、時価上昇により投資有価証券が増加したものの、有形固定資産及び無形固定資産が減価償却により減少したこと等により、前年度末と比較し25百万円減少し、17,713百万円となりました。

以上の結果、当四半期末における資産の部は、前年度末と比較し573百万円減少し24,006百万円となりました。

(負債の部)

負債の部は、有利子負債や未払法人税等が減少したこと等により、前年度末と比較し756百万円減少し10,392百万円となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、四半期純利益を計上していること等により、前年度末と比較し183百万円増加し13,614百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年11月12日に公表した業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,085,506	3,124,639
受取手形及び売掛金	410,904	255,510
商品	27,837	39,097
販売用不動産	641,664	889,277
貯蔵品	10,914	50,316
繰延税金資産	51,731	45,973
買取債権	1,269,755	1,510,021
その他	663,840	759,967
貸倒引当金	△321,379	△381,729
流動資産合計	6,840,777	6,293,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,010,363	4,950,967
機械装置及び運搬具(純額)	54,972	68,341
工具、器具及び備品(純額)	225,388	228,338
土地	9,102,828	9,102,828
リース資産(純額)	136,618	120,634
有形固定資産合計	14,530,172	14,471,110
無形固定資産		
借地権	39,207	39,207
ソフトウェア	70,614	57,805
リース資産	1,881	1,454
その他	4,921	4,921
無形固定資産合計	116,625	103,389
投資その他の資産		
投資有価証券	2,115,475	2,174,868
長期貸付金	180	330
差入保証金	802,852	617,101
繰延税金資産	121,896	122,781
その他	272,415	424,385
貸倒引当金	△220,637	△200,334
投資その他の資産合計	3,092,182	3,139,132
固定資産合計	17,738,980	17,713,631
資産合計	24,579,757	24,006,705

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	714,972	808,567
短期借入金	70,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	664,180	506,716
リース債務	25,698	24,643
未払金	501,550	405,481
未払法人税等	222,476	89,696
前受金	91,127	148,624
繰延税金負債	1,304	864
賞与引当金	131,158	78,942
建物解体費用引当金	196,109	140,829
事業所閉鎖損失引当金	192,000	91,202
資産除去債務	160,000	160,000
その他	524,450	424,478
流動負債合計	3,495,028	2,980,046
固定負債		
社債	180,000	180,000
長期借入金	2,609,091	2,372,568
リース債務	121,403	105,793
長期末払金	12,534	12,534
長期預り保証金	2,068,348	2,051,929
繰延税金負債	884,820	852,209
再評価に係る繰延税金負債	990,187	990,187
役員退職慰労引当金	59,473	59,473
退職給付に係る負債	623,346	680,209
資産除去債務	104,676	107,056
固定負債合計	7,653,881	7,411,961
負債合計	11,148,909	10,392,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,737,647	3,737,647
利益剰余金	3,397,227	3,535,410
自己株式	△237,126	△237,206
株主資本合計	11,450,388	11,588,492
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,019	427,765
土地再評価差額金	1,598,439	1,598,439
その他の包括利益累計額合計	1,980,459	2,026,205
純資産合計	13,430,848	13,614,697
負債純資産合計	24,579,757	24,006,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	11,681,927	11,266,282
売上原価	8,235,945	7,713,153
売上総利益	3,445,982	3,553,129
販売費及び一般管理費		
役員報酬	183,296	159,556
広告宣伝費	46,479	30,043
人件費	1,847,107	1,832,558
賞与引当金繰入額	43,788	54,597
退職給付費用	55,194	56,878
賃借料	252,211	262,360
水道光熱費	131,302	145,177
貸倒引当金繰入額	11,600	70,293
その他	816,687	690,420
販売費及び一般管理費合計	3,387,667	3,301,888
営業利益	58,315	251,241
営業外収益		
受取利息	775	284
受取配当金	62,431	61,455
協賛金収入	31,210	18,335
貸倒引当金戻入額	8,266	17,977
その他	15,219	18,470
営業外収益合計	117,903	116,523
営業外費用		
支払利息	132,691	37,400
借入関連費用	-	2,095
その他	6,391	12,133
営業外費用合計	139,082	51,629
経常利益	37,135	316,135
特別利益		
固定資産売却益	3,804,425	-
受取解約違約金	1,000	600
合意解約金	37,000	-
特別利益合計	3,842,425	600

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
特別損失		
特別退職金	33,640	-
固定資産除却損	29,856	5,045
減損損失	14,106	-
事業所閉鎖損失	277,539	-
解約違約金	67,000	-
借入金繰上返済精算金	10,620	-
建物解体費用引当金繰入額	144,109	-
特別損失合計	576,873	5,045
税金等調整前四半期純利益	3,302,686	311,689
法人税、住民税及び事業税	1,909,891	136,515
法人税等調整額	△240,960	△41,945
法人税等合計	1,668,930	94,569
少数株主損益調整前四半期純利益	1,633,755	217,120
四半期純利益	1,633,755	217,120

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,633,755	217,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	286,176	45,745
土地再評価差額金	△1,628,858	-
その他の包括利益合計	△1,342,681	45,745
四半期包括利益	291,073	262,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,073	262,866

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。